

令和4年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要  
女性の活躍

日本の隠された財産「杉」の高付加価値化によるブランド化の実現

○氏名又は名称 穴井 里奈

○所在地 熊本県阿蘇郡南小国町

○出品財 女性の活躍（林産）

○受賞理由

・地域の概要

南小国町は、熊本県の北端に位置し阿蘇北外輪山外側の高原地帯にある。多雨多湿と肥沃で保水性が高い土壌条件とが相まって杉・檜などの針葉樹の育成に適し、古くから小国林業地帯を形成している。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

穴井氏は、2011年に夫の実家のある南小国町に移住した。小国杉の歴史や魅力を広めるため、端材を使った雑貨や生活用品の企画・製作を開始。2016年に株式会社「Foreque」を立ち上げ、国産材を活用した家具やアロマ製品の企画・製作・販売を行うなど木材の新たな利用の道を開き、事業を発展させてきた。ECサイトを活用した県外、海外への販路拡大に取組み、5年目には大幅に売上を拡大し、事業として軌道に乗せた。

・受賞者の特色

(1) 小国杉を活用した商品開発事業等

ライフスタイルブランド「FIL」を東京のクリエイターと立ち上げ、阿蘇・小国杉の商品の裏にある理念やストーリーに共感してもらえるようなブランディングや各分野の専門家とのコラボレーションを行っている。また、エッセンシャルオイル事業では、放置されていた枝葉を林業家から買い取ることで林業家の副収入にするとともに、抽出後の残渣物を土づくりや熱エネルギーとして再利用するなど廃棄物ゼロに努めている。

(2) 女性の活躍

「Foreque」は、香りやデザインなど、女性ならではの感性が求められる案件も多いため、積極的に女性を起用している。社員の半分が女性であり、クライアント担当者も女性が多い。また、2021年、2022年に県外から女性の大学新卒者を1名ずつ採用した。林業・資材業は従事者のほとんどが男性である中、小国杉に関わって女性が活躍する場を新たに創出しており、過疎化が進んだ町にとって、大きな地域貢献となっている。

・普及性と今後の発展方向

木育インストラクターとして、町内の保育園や学校で体験イベントを開催し、地元の中学校に国内初となる林業×プログラミングをテーマにした部活動を提案・運営するなど、後継者世代への働きかけも行っている。同氏は、町の主産業である観光と農林業のハブの役割を担い、様々な関係者と連携しながら新しい価値を形にしていくことを目指している。